

## 令和2年度事業計画（7月補正収支予算関連）

わが国では、緊急事態宣言が解除され、都道府県をまたぐ移動も徐々に行われるようになりつつある。しかし、新型コロナウイルスは消滅したわけではなく、しばらくは誰も経験したことのないWithコロナの時代が続き、新しい生活様式を進めていかなければならない。

神戸観光局の目的は、観光・MICE・港湾振興の側面から地域経済を発展させることにある。収益事業の悪化等に伴い財政的に厳しい状況ではあるが、現状に立ち止まるのではなく、観光客やMICE参加者、施設利用者の声を聴きながら時代のニーズを読み取り、事業者の皆さんや神戸市とともに、Withコロナの時代の施策に取り組んでいく。

### ◎主な新規・拡充事業

#### 1. 安全・安心な神戸観光の発信

##### (1) 感染防止対策「神戸観光局モデル」の実施

観光施設・宿泊施設等における感染防止対策の見える化を進めるため、各施設の「取り組み宣言書」を掲示してもらうとともに、ホームページやSNSを活用して神戸観光の安全・安心を発信する。

あわせて、神戸観光局の会員間の相互交流研修を実施し、会員間の情報共有、地域一体となった感染防止対策の向上を図る。

##### (2) 管理施設における感染防止対策の徹底

神戸国際会議場・展示場や有馬温泉金の湯・銀の湯、神戸ポートタワー等、神戸観光局が管理する施設における、職員のマスク着用・手洗いの実施等を徹底するとともに、感染防止ガイドラインに沿った施設運営を行う。

#### 2. 事業者の支援

##### (1) マンスリーレポート臨時号の発行

国・県・市の補正予算や支援・助成制度の概要、感染防止に向けた国等の指針など、必要な情報を適宜適切に提供する。

##### (2) 情報プラットフォーム機能の強化

事業者のニーズをくみ取り、オンライン講演会やマッチングの機会を提供し、情報提供・発信や交流促進を図る。

#### 3. 観光の段階的緩和と魅力的なコンテンツの開発

#### (1) STAY at KOBE ～神戸に泊まって応援キャンペーン～

市内宿泊施設において宿泊や飲食で利用可能な施設利用券を市民向けに割引価格で販売する。また、売り上げの一部を「こうべ医療者応援ファンド」に寄付することで、市民による宿泊事業者及び医療従事者の支援につなげる（神戸市観光・ホテル旅館協会事業。神戸観光局は同協会の事務局）。

#### (2) KOBE 観光スマートパスポート

市内 60 施設の観光施設等がフリーパスで利用できる電子チケットを販売し、回遊性の向上に努める。なお、市民に向けては割引価格で販売する。

#### (3) 六甲山～有馬温泉 アート・ナイト・プロジェクト

六甲ミーツ・アートと連携し、夜間に鑑賞できる作品を有馬温泉にも設置することなどにより、六甲山、有馬温泉エリアにおける滞在型観光とナイトタイムエコノミーを促進する。

#### (4) 公民共創事業

With コロナの時代に必要で、観光課題の解決に資すると見込むことができ、ひいては地域創生に資する新事業の提案を民間から募集・選定し、協働で実施する。

### 4. 観光プロモーションの推進

#### (1) 五感で神戸 ～Feel KOBE at home～

自宅にいながら神戸を五感で楽しんでもらうためのウェブサイトを開設し、神戸ならではの夜景（視覚）、JAZZ（聴覚）、神戸ビーフ（味覚）といったコンテンツや商品などを紹介する。

あわせて、SNS キャンペーンを実施し、神戸を五感で楽しめるギフトセットをプレゼントする。

#### (2) 神戸で海外旅行

渡航制限で海外旅行が困難になる中、神戸で海外気分を味わえるスポットを紹介したウェブサイトを開設する。

あわせて、神戸への訪問を促すため、海外気分を味わえるスポットの投稿により周遊クーポンをプレゼントする SNS キャンペーンを実施する。

### 5. フィルムオフィス事業

撮影時における感染防止ガイドラインの遵守を促し、周辺地域の住民にも安心してロケ・撮影を受け入れてもらえる土壌を醸成していく。

また、今年度は「神戸フィルムオフィス」設立 20 周年を迎えることから、これまでの活動を振り返り、これからの 20 年を見据えた記念事業を実施する。

## 6. MICE 事業

With コロナの時代における MICE については、ハイブリッドミーティング（実際に会場で開催されるリアルなイベントとバーチャルなセッションを掛け合わせたもの）などオンラインを活用した新たなスタイルが進行していくことが想定される。

このため、これまで培ってきた国内外のネットワークなどを通じて積極的に情報を収集し、より一層の誘致促進のための方策について検討を進めていく。

## 7. 港湾振興事業

クルーズ客船の運航再開に備え、安全・安心な乗下船が可能となるよう、旅客ターミナルの運営を行う。

さらにクルーズ客船やフェリー、観光船のイメージ向上等を図るとともに、神戸ポートタワーを活用し、With コロナにおけるウォーターフロントエリアでの賑わいづくりに取り組む。

### ◎今後の方針

With コロナの時代に求められる新しい生活様式にあわせた、安全・安心な神戸の取り組みを観光・MICE・港湾振興の側面から強化する。

また、国の緊急経済対策「Go To トラベルキャンペーン」や県・市補正予算事業に足並みをそろえて取り組む。あわせて、都市でありながら山・海といった自然が近い神戸の暮らしを活かした、神戸ならではの魅力的なコンテンツの開発・集積に加え、医療産業や海洋などの神戸の強みを活かした M I C E 事業の振興等を推進する。

さらに、感染の状況を常に注視するとともに、Go To キャンペーン等の節目に併せて神戸の魅力を様々な媒体を活用して発信することで、ALL 神戸で神戸経済の活性化を強力に進めていく。